

感染症発生状況

令和7年6月25日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年6月16日（月）～6月20日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 218名 【職員】 6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 43名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（113名）、咳・鼻水（52名）、下痢・腹痛（17名）、嘔気・嘔吐（6名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（25名）、胃腸炎（6名）、溶連菌感染症（4名）、
インフルエンザ（4名）

【職員】 症状別：頭痛（1名）、咳・鼻水（1名）、嘔気・嘔吐（1名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（5名）、気管支炎・肺炎（1名）

盛岡も暑い夏に入ってきました。

夏風邪（手足口病、プール熱【アデノウイルス感染症】）が流行し始めています。

どちらも接触感染ですので手洗いの励行をお願いします。

【疾病別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

胃腸炎 河北地区、河南地区で増加しました。都南地区で減少しました。

溶連菌感染症 盛南地区、都南地区で増加しました。河北地区、河南地区で減少しました。

インフルエンザ 厨川地区で増加しました。

【県の状況（6/9～6/15）】

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

水痘（入院例）の報告が2例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。

百日咳が98例報告され、2018年以降で最多を更新しました。年齢別では10代が53例と最も多く、次いで5～9歳が21例となっています。子供だけでなくすべての年齢層で報告があり、注意が必要です。地域別では盛岡市が31例、県央地区が24例、久慈地区が17例となっています。かぜ様の症状と激しい咳が特徴です。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対しワクチンを接種することが望めます。また、集団や家庭内に感染を拡大させないよう、手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策も行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）は増加し、定点当たり患者数は2.15人となり、警報値（2.0人）を超えています。盛岡市内の教育・保育施設では集団発生事例が1件ありました。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症ですが、妊婦が感染すると胎児の異常や流産の危険性が生じる場合もあります。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。しかし、流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】